

2025年3月31日

各位

株式会社大和証券グループ本社
大和アセットマネジメント株式会社
株式会社かんぽ生命保険
三井物産株式会社

大和証券グループ、かんぽ生命及び三井物産の
オルタナティブ資産運用分野における資本業務提携
～大和アセットマネジメントによる三井物産オルタナティブインベストメンツの
子会社化に関するお知らせ～

株式会社大和証券グループ本社（以下、「大和証券グループ本社」）、及びその連結子会社である大和アセットマネジメント株式会社（以下、「大和アセットマネジメント」）、株式会社かんぽ生命保険（以下、「かんぽ生命」）、三井物産株式会社（以下、「三井物産」）、三井物産とかんぽ生命の中間持株会社である三井物産かんぽアセットマネジメント株式会社（以下、「MKAM」）及び三井物産の完全子会社である三井物産オルタナティブインベストメンツ株式会社（以下、「MAI」）は、2025年3月31日付でオルタナティブ資産運用分野における資本業務提携（以下、「本提携」）に係る契約を締結いたしました。大和アセットマネジメント及びMKAMは、MAIの既存株主である三井物産との株式譲渡取引（以下、「本取引」）を実行し、大和アセットマネジメントはMAIを子会社化することを以下の通りお知らせいたします。なお、本取引に伴いMAIの商号について「大和かんぽオルタナティブインベストメンツ株式会社（略称：DKAI）」に変更することを予定しています。

■本提携の背景と目的

近年、上場株式や債券といった伝統的資産の代替として、オルタナティブ資産が注目を集めています。これらの資産は伝統的資産とは異なるリスク・リターン特性を持ち、ポートフォリオの一部に組み入れることで運用効率の向上が期待されます。機関投資家や個人投資家の別を問わず、オルタナティブ資産運用への関心は年々高まっており、多様化するお客様の課題やニーズに応えることがより一層求められるようになっていきます。

今回、大和証券グループ、かんぽ生命及び三井物産はアセットマネージャー、アセットオーナー、総合商社という異なる立場から、オルタナティブ資産運用のフロントランナーであるMAIを通じ、オルタナティブ資産運用分野において協業することで合意いたしました。それぞれのグループがこれまで磨き上げてきた資産運用やリアルアセットに関する知見・ネットワークを結集し、オンリーワンのサービス提供を実現します。

なお、本提携は2024年5月15日に公表した「かんぽ生命と大和証券グループの資産運

用分野における資本業務提携^{※1}」における大和アセットマネジメントの運用力や商品・サービス提供力の向上、かんぽ生命の収益源の多様化及び資産運用力の強化、及び2022年6月10日に公表した「不動産等のアセットマネジメント事業における三井物産とかんぽ生命の資本業務提携^{※2}」に基づき設立されたMKAMにおける三井物産とかんぽ生命の協業戦略に係る取組みを発展させるものとなります。

投資家の皆様に多様な投資商品を提供することを通じ、オルタナティブ資産運用分野を黎明期からけん引してきたMAIのより一層の企業価値向上を実現し、資産運用立国の実現に貢献してまいります。

※1 2024年5月15日 [「かんぽ生命と大和証券グループの資産運用分野における資本業務提携に関するお知らせ」](#)

※2 2022年6月10日 [「不動産等のアセットマネジメント事業におけるかんぽ生命との資本・業務提携」](#)

■本提携の内容

・ 資産運用

かんぽ生命は、オルタナティブ投資に関わる資産運用の一部をMAIに委託、下記人材交流を含むMAIとのシナジーを通じて運用力の高度化を図るとともに、出資先である大和アセットマネジメント及びMKAMの成長に貢献します。

大和アセットマネジメントは、ミドル・バック機能を含む運用基盤をMAIに提供することで、MAIの運用力向上に貢献します。

・ 人材交流

大和アセットマネジメント、かんぽ生命及び三井物産は、MAIの運用高度化を通じた各社の収益基盤の拡充、体制強化を目的とし、MAIとの人材交流を行います。

・ 私募、公募商品の開発

大和アセットマネジメント及び大和証券グループ本社は、MAIと協働して私募・公募商品の開発に取り組み、投資家の皆様に優れたオルタナティブ商品を提供することを目指します。

・ ソリューション提供力の向上

三井物産は、三井物産グループがもつ国内外ネットワーク及びオルタナティブアセットのソーシング力を活用し、MAIのソリューション提供力の向上をサポートします。

■大和証券グループ本社のコメント：

大和証券グループでは、グループ経営基本方針として「お客様の資産価値最大化」を掲げ、オルタナティブ資産等の新たな投資機会の提供や多様なニーズに応える金融商品の開発を通じて、社会に対して新たな価値の提供を目指しています。

本提携は、日本有数のアセットオーナーであるかんぽ生命との資産運用分野の提携において掲げていた、大和アセットマネジメントのオルタナティブ分野を含む投資顧問ビジネス強化の一環として取り組むものです。日本を代表する大手総合商社として多様なアセッ

トのソーシングに強みを持ち、長年に亘りオルタナティブ資産運用サービスを提供してきた三井物産と連携し、同社の中核子会社としてオルタナティブ金融商品を提供してきたMAIを迎え入れることについて、大きな期待を膨らませています。

3 グループが有機的に連携し、幅広いお客様へ魅力的なオルタナティブ金融商品を提供することで、資産運用立国実現に貢献していく所存です。

■かんぽ生命のコメント：

かんぽ生命は、日本郵政グループの一員として郵便局ネットワークを通じて全国のお客様さまから保険料をお預かりし、中長期的に安定した運用収益の獲得を目的として資産運用に取り組んでいます。その中で当社は国内有数のアセットオーナーとして国内外のプライベート・エクイティやインフラを含むオルタナティブ資産に分散投資してまいりましたが、足元オルタナティブ投資の重要性はますます高まっており、さらなる深化が重要となっております。

当社はこれまで三井物産とはMKAM、大和証券グループとは大和アセットマネジメントを通じて資産運用分野での協業を進めてまいりました。このたびMKAMと大和アセットマネジメントを通じてMAIに出資し、MAIを核として各社と協働することは、当社のオルタナティブ投資運用の高度化・人材の強化に加えてMKAMと大和アセットマネジメントのさらなる成長や発展に資するものと大いに期待しております。

本提携を通じて当社と日本郵政グループのすべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えするとともに、資産運用立国の実現にも貢献してまいります。

■三井物産のコメント：

三井物産はこれまでオルタナティブ投資の国内黎明期から20年以上に亘り、当社100%子会社であるMAIを通じて当社グループが開発し運用する多様なリアルアセットへの投資機会を機関投資家の皆様に提供してきました。

本提携は、かんぽ生命とのアセットマネジメント事業における協業を目的として設立したMKAMを通じて行う、運用会社への共同出資の具体的取組みであるとともに、かんぽ生命と大和アセットマネジメントのオルタナティブ分野のビジネスの中核事業としてMAIを位置づけることで、異なる業界を代表する3社の協働による相乗効果を狙ったものです。

三井物産は、引き続き三井物産グループのリアルアセットにおける優れたソーシング力を発揮するとともに、日本を代表する金融グループとして幅広い商品組成力と投資家ネットワークを有する大和証券グループの子会社となるMAIを通じて、より多くの投資家に魅力的な運用商品を提供していきます。

■会社概要

大和証券グループ本社

会社名	株式会社大和証券グループ本社
所在地：	〒100-6751 東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号グラントウキョウ ノースタワー
代表者	代表執行役社長 荻野 明彦
発足	1999 年 4 月 26 日
URL	https://www.daiwa-grp.jp/

大和アセットマネジメント

会社名	大和アセットマネジメント株式会社
所在地：	〒100-6753 東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号グラントウキョウ ノースタワー
代表者	代表取締役社長（4 月 1 日付退任） 小松 幹太 代表取締役社長（4 月 1 日付就任） 佐野 径
発足	1959 年 12 月 12 日
URL	https://www.daiwa-am.co.jp/

かんぽ生命

会社名	株式会社かんぽ生命保険
所在地：	〒100-8794 東京都千代田区大手町二丁目 3 番 1 号大手町プレイスウエストタワー
代表者	取締役兼代表執行役社長 谷垣 邦夫
発足	2007 年 10 月 1 日
URL	https://www.jp-life.japanpost.jp/

三井物産

会社名	三井物産株式会社
所在地：	〒100-8631 東京都千代田区大手町一丁目 2 番 1 号三井物産ビル
代表者	代表取締役社長 堀 健一
発足	1947 年 7 月 25 日
URL	https://www.mitsui.com

三井物産かんぼアセットマネジメント

会社名	三井物産かんぼアセットマネジメント株式会社
所在地：	〒101-0065 東京都千代田区西神田三丁目 2 番 1 号 住友不動産千代田ファーストビル
代表者	代表取締役社長 仲井 隆
発足	2022 年 8 月 31 日
URL	https://www.mkam.co.jp

三井物産オルタナティブインベストメンツ

会社名	三井物産オルタナティブインベストメンツ株式会社 (新商号：大和かんぼオルタナティブインベストメンツ株式会社)
所在地：	〒101-0065 東京都千代田区西神田三丁目 2 番 1 号 住友不動産千代田ファーストビル
代表者	代表取締役社長 (3 月 31 日付退任) 三井 高輝 代表取締役社長 (4 月 1 日付就任) 片山 敦司
発足	2001 年 12 月 21 日
URL	https://www.mitsui-ai.com

■本提携の日程

本資本業務提携契約締結	2025年3月31日
本株式譲渡の実行日 ^{※3}	2025年度上期（予定）

※3 本提携に係る手続き（三井物産とMAIの取引契約見直し、関係当局への手続きを含むMAIの組織変更など）を経た上で本株式譲渡を実行する予定です。仮に手続きに時間を要する場合は実行日を変更する可能性があります。

■今後の見通し

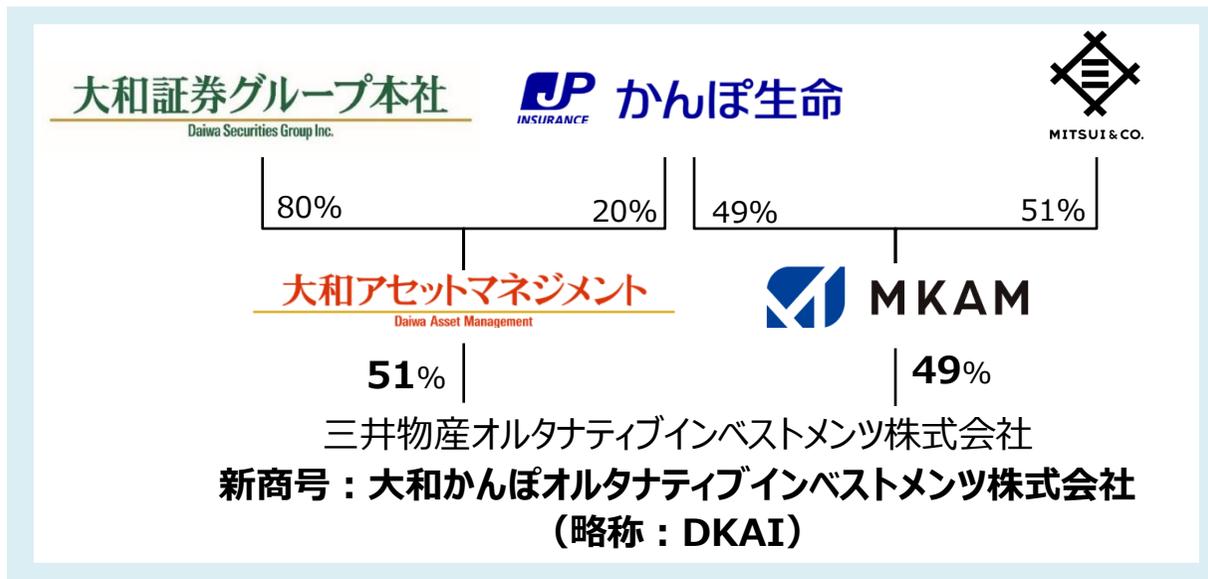
本提携が大和証券グループ本社、かんぽ生命及び三井物産の2025年3月期の連結業績に与える影響は、現時点においては軽微と見込んでおりますが、本提携における取組みを推進することにより、中長期的な企業価値向上に向けて取り組んでまいります。

なお、今後、本提携における取組の具体的な進捗に応じて業績に影響を与えることが判明した場合には、速やかに公表いたします。

以上

大和証券グループ、かんぽ生命、三井物産のオルタナティブ資産運用分野における資本業務提携

- 大和証券グループ、かんぽ生命、三井物産グループはオルタナティブ資産運用分野における資本業務提携契約を締結しました
- 大和アセットマネジメント（以下、大和AM）と三井物産かんぽアセットマネジメント（以下、MKAM）は、三井物産オルタナティブインベストメンツ株式会社（以下、三井物産オルタナティブインベストメンツ）の既存株主である三井物産と株式譲渡取引を実行し、三井物産オルタナティブインベストメンツ株式の51%を大和AMが取得し子会社化、49%をMKAMが取得します
- アセットマネージャー、アセットオーナー、総合商社のそれぞれ異なる強みを持つ3グループが協働することで、三井物産オルタナティブインベストメンツ（新商号：大和かんぽオルタナティブインベストメンツ株式会社／略称：DKAI）のソリューション提供力向上を図ると共に、オルタナティブ投資の国内投資家への普及および資産運用立国実現に貢献してまいります



▶ 大和証券グループの狙い

- 大和AMにおけるオルタナティブ資産運用分野への本格参入
- オルタナティブ資産の公募・私募投信開発によるソリューション提供力の向上
- 相互人材交流を通じたオルタナティブ投資人材の育成

▶ かんぽ生命の狙い

- 大和AMとの提携を基盤とした三井物産オルタナティブインベストメンツの活用によるオルタナティブ投資運用の高度化
- 相互人材交流を通じた専門人材の高度化、専門人材育成策の強化
- 三井物産オルタナティブインベストメンツ、大和AMおよびMKAMの成長を通じた収益の拡大

▶ 三井物産の狙い

- 大和証券グループの商品組成力、顧客基盤活用によるオルタナティブ資産運用商品の販売拡大
- かんぽ生命の運用資金の受託増による三井物産オルタナティブインベストメンツの成長加速
- 当社が開発・運用するリアルアセットの販売網拡大